

## 平成23年度 民間住宅ローン借換の実態調査

### 1. 調査の概要

現在、民間住宅ローン借入があり、2010(平成22)年11月～2011(平成23)年10月に借換をされた方を対象として借換による住宅ローンの金利タイプの変化、借換理由などの事項について、インターネットによるアンケート調査を実施(10/14～10/31)し、その結果を取りまとめたものである。回答数:812件。

### 2. 調査結果の主なポイント

#### (1) 借換後の金利タイプは、約半数が「変動型」

- 借換後の金利タイプは、「変動型」が約半数(46.3%)を占めている。  
(c.f. 「全期間固定型」14.0%、「固定期間選択型」39.7%) <p.2>
- 調査対象期間を通じた借換後の金利タイプをみると、4月以降「変動型」の利用割合が常に「固定期間選択型」を上回る水準で推移している。 <p.3>

借換後は、「変動型」利用が46.3%と約半数を占めている。  
金利が低位で推移する中、相対的に低利な「変動型」利用が高い水準で推移している。

#### (2) 年齢・年収にかかわらず、「変動型」への借換割合が最多

- 借換後の金利タイプを年齢・年収ごとにみても、どの年齢層・年収層においても「変動型」への借換割合が最多であった。 <p.5>

#### (3) 金利低下と返済額減少が借換理由の大半

- 借換理由は、「金利が低くなるから」が68.7%、「返済額が少なくなるから」が55.8%と50%を上回っている。 <p.6>